

# 2014年9月期 第1四半期 決算説明資料

2014年2月

**フィンテック グローバル株式会社**

(東証マザーズ:8789)

<http://www.fgi.co.jp/>

---

# 2014年9月期 第1四半期 業績(連結)

(単位：百万円)	2013年9月期 第1四半期 (A)	2014年9月期 第1四半期 (B)	前年同期比 (B) - (A)	2013年9月期 通期実績
売上高	243	282	39	1,603
売上総利益	208	213	4	1,468
営業利益	△249	△195	54	△31
経常利益	△217	△76	141	88
当期純利益	△148	△82	66	182

## 第1四半期の主要営業概要

ポイント①⇒営業体制強化により投資銀行業務が順調、手数料収入が確実に増加。

第1四半期での投資回収の売上はなし。大型投資事案は2014年2月に投資回収。第2四半期の連結・単体で、売上高・営業利益に10.5億円を計上予定

ポイント②⇒公会計で培った会計士ルート等で投資機会を提供。 人的ネットワークも拡大。

ポイント③⇒ユニークな事業の創業への投資を実行。

## 今後の事業構想

- ☑ ムーミンのテーマパーク設立など不動産派生事業を展開。
- ☑ 再生可能エネルギー事業への投資を強化。
- ☑ 個人を対象としたベターライフをサポートするための不動産事業を強化。

# セグメント別業績

(注) 売上高はセグメント間取引を含む。

(単位:百万円)		2013年9月期 第1四半期	2014年9月期 第1四半期	前年同期比	主な連結会社
1	投資銀行事業	売上高 27 営業利益 △7	116 61	88 68	フィンテック グローバル (FGI)
2	アセット マネジメント事業	売上高 49 営業利益 4	56 17	6 12	フィンテック アセットマネジメント (FAM)
3	その他投資先事業	売上高 124 営業利益 △42	104 △88	△19 △46	ベルス (BELS) Crane Reinsurance
4	公共財関連事業	売上高 45 営業利益 △3	19 △8	△25 △4	パブリック・マネジメント・ コンサルティング (PMC)
	調整額	売上高 △3 営業利益 △201	△14 △177	△11 23	
	連結P L 計上額	売上高 243 営業利益 △249	282 △195	39 54	

## 投資銀行業務

- ・投資機会を提供する事業を展開。事業法人や会計士等とのネットワーク拡大。
- ・地域金融機関から資本増強策のアレンジメントを受託。

## 企業投資

- ・ムーミン・テーマパークを設立・運営するための合併会社(株)ムーミン物語を設立。
- ・ムーミン関連商品のEコマース・サイトを運営するAll Things Commerce Helsinki Oy (フィンランド)に出資。  
同社は、日本でのEコマースのため、2014年1月に日本法人を設立

FAMは、経営支援業務の受託や、M & Aに係る財務アドバイザー業務受託により収益計上。

サービス付高齢者向け住宅プロジェクトは、開発フェーズから運用フェーズに移行。引続きアセットマネジメントを受託。

ベルスは、持ち家サービス部門が好調。従業員40万人規模の企業へ持家支援サービスの提供を開始。

賃貸サービス部門は、顧客の社宅制度廃止の影響を受けたものの、これに伴う引越しニーズを吸収。

Craneは仲裁手続を継続。弁護士費用等により支払手数料が増加。

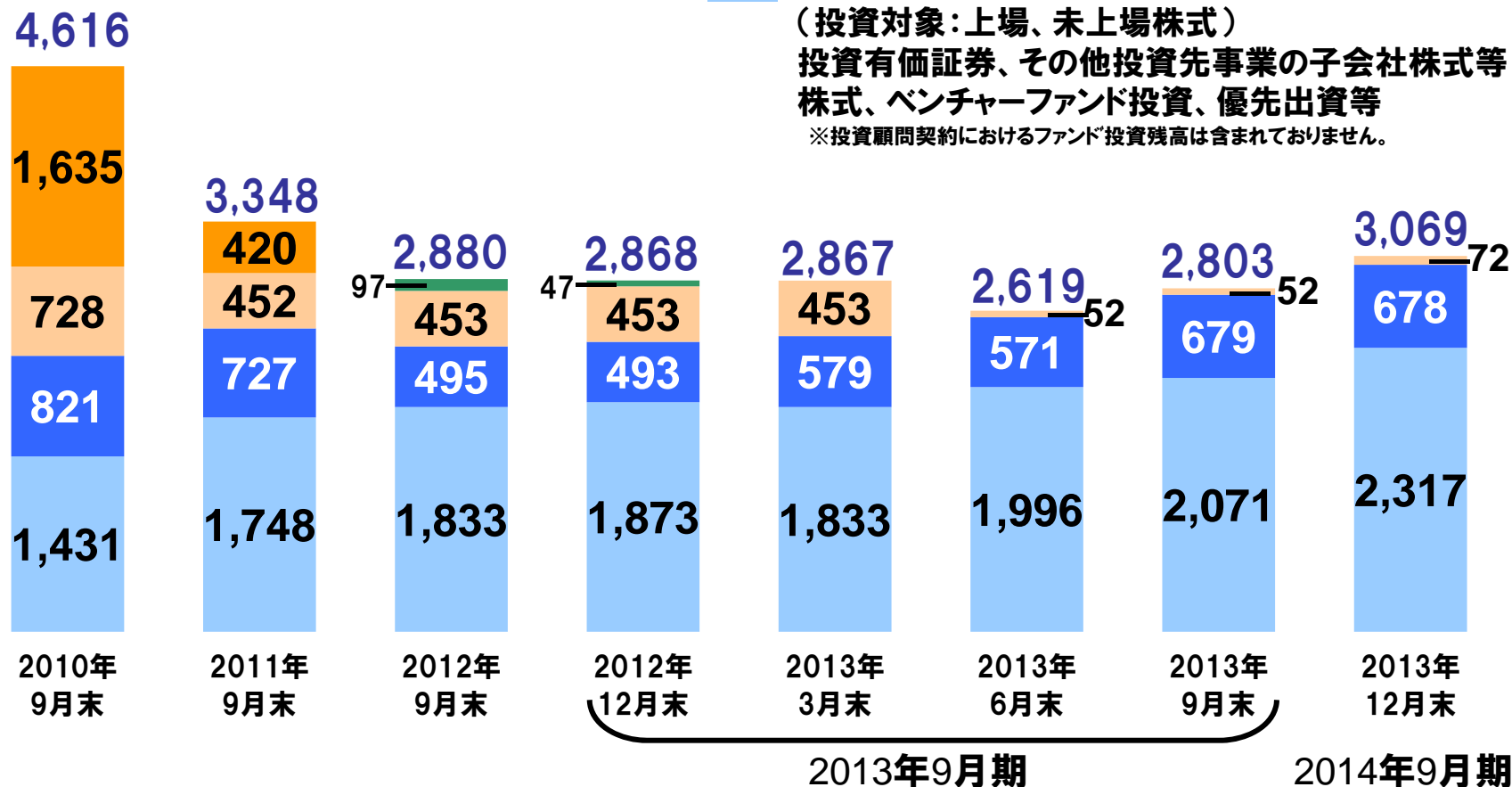
PMCは、協力会社との連携による公会計パッケージソフトの販売が伸び悩み。自治体では、来年度予算に公共財の管理計画策定に関する予算が盛り込まれ、第3四半期以降に、計画策定支援業務の拡大を企図。

# プリンシパルインベストメントのポートフォリオの推移

(単位：百万円、全額引当の債権を除く金額)

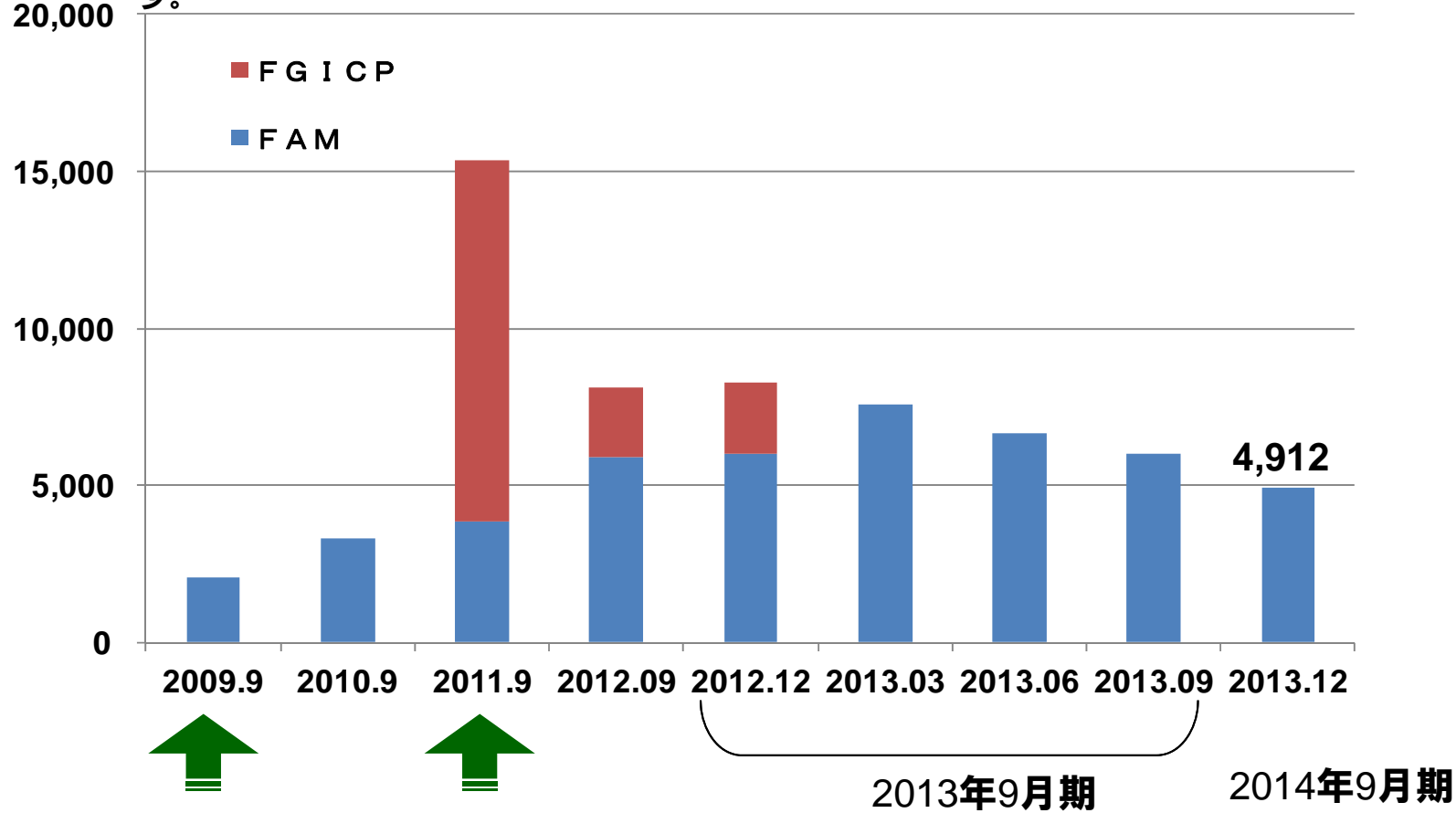
2013年9月期第1四半期よりベンチャーファンドのFINTECH GIMV FUND (FGF) を連結から除外しております。情報の連続性を保つため、2012年9月期以前についても、FGFを連結から除外したものと表示しております。また、FGF全体の投資残高は2,363万ドル(2013年9月末)で、FGIの持分は約45%となっております。

- オルタナティブファンドへの投資(当社グループが運用)
- 販売用不動産(証券化商品含む)
- 不動産投資案件向け貸付、出資
- コーポレートローン、事業資金貸付、社債引受
- 投資事業組合出資 ※  
(投資対象: 上場、未上場株式)  
投資有価証券、その他投資先事業の子会社株式等  
株式、ベンチャーファンド投資、優先出資等  
※投資顧問契約におけるファンド投資残高は含まれておりません。



# アセットマネジメント事業の受託資産残高(AUM)の推移

(百万円) 2014年9月期第1四半期は、企業投資ファンド及びサービス付高齢者向け住宅の竣工によるリファイナンスでAUM増加があったものの、不動産AMでエグジットを迎えた案件があったため、AUMは減少。



フィンテック アセットマネジメント (FAMI) の子会社化  
 FGIキャピタル・パートナーズ (FGICP) の子会社化

【当社が出資するFINTECH GIMV FUNDの資産額(2013年9月末純資産27百万ドル)は含んでおりません】

# 連結貸借対照表

## 資産の部

	13年9月期	14年9月期 第1四半期	増減
流動資産	4,148,573	4,055,209	△ 93,364
現金及び預金	1,644,879	1,220,249	△ 424,629
売掛金	110,261	153,942	43,681
<b>1</b> 営業投資有価証券	1,617,268	1,880,705	263,436
繰延税金資産	6,113	8,604	2,490
営業貸付金	826,118	836,831	10,713
その他	143,464	158,075	14,611
貸倒引当金	△ 199,533	△ 203,200	△ 3,666
固定資産	622,164	636,220	14,055
有形固定資産	130,167	125,859	△ 4,307
無形固定資産	201,864	190,409	△ 11,454
投資その他の資産	290,133	319,950	29,817
資産合計	4,770,738	4,691,429	△ 79,309

**1** 企業投資を目的とするファンドへの投資、  
ムーミンEコマース・テーマパーク関連の企業への投資、  
為替変動(ドル建の投資先)等による増加

## 負債の部

(単位: 千円)

	13年9月期	14年9月期 第1四半期	増減
流動負債	419,295	471,748	52,453
短期借入金	26,000	66,000	40,000
預り金	72,192	87,298	15,105
未払金	101,812	126,510	24,697
その他	219,289	191,940	△ 27,349
固定負債	1,635,207	1,628,537	△ 6,669
社債	40,000	40,000	0
保険契約準備金	1,406,936	1,406,936	0
その他	188,270	181,600	△ 6,669
負債合計	2,054,502	2,100,286	45,784

## 純資産の部

株主資本	2,688,361	2,545,839	△ 142,521
資本金	2,312,517	2,312,517	0
資本剰余金	12,490	12,542	52
利益剰余金	363,446	220,796	△ 142,650
自己株式	△ 92	△ 16	76
新株予約権	2,050	2,226	175
少数株主持分	25,824	43,077	17,253
純資産合計	2,716,236	2,591,143	△ 125,093
負債純資産合計	4,770,738	4,691,429	△ 79,309

# 連結損益計算書

	2013年9月期 第1四半期	2014年9月期 第1四半期	(単位: 千円) 増減
売上高	243,415	282,421	39,005
売上原価	34,942	69,219	34,276
売上総利益	208,472	213,201	4,729
販売費及び一般管理費	1 458,134	408,851	△ 49,283
営業損失(△)	△ 249,662	△ 195,649	54,012
営業外収益	32,503	2 120,107	87,603
営業外費用	295	676	381
経常損失(△)	△ 217,453	△ 76,218	141,234
特別利益	68,062	17	△ 68,044
特別損失	767	4,033	3,266
税金等調整前四半期純損失(△)	△ 150,158	△ 80,234	69,923
法人税等	△ 2,237	△ 4,813	△ 2,576
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△ 147,921	△ 75,420	72,500
少数株主利益又は少数株主損失(△)	651	6,767	6,116
四半期純損失(△)	△ 148,572	△ 82,188	66,384

1

人件費は、前第1四半期比で38百万円減少（前第1四半期はグループ再編前）  
Craneの仲裁費用の影響により、支払手数料は前第1四半期比で12百万円増加

2

為替差益119百万円の計上

# 参考資料

---

- 個別財務諸表（貸借対照表、損益計算書）
- 連結業績推移（6期分）
- 子会社単体業績の推移



# 個別貸借対照表

## 資産の部

	13年9月期	14年9月期 第1四半期	増減
<b>流動資産</b>	<b>2,833,305</b>	<b>2,827,706</b>	<b>△ 5,599</b>
現金及び預金	472,887	121,036	△ 351,850
売掛金	1,360	55,356	53,996
営業投資有価証券	1,613,125	1,875,583	262,458
営業貸付金	847,078	857,791	10,713
短期貸付金	20,177	15,089	△ 5,088
その他	98,965	126,820	27,854
貸倒引当金	△ 220,288	△ 223,971	△ 3,683
<b>固定資産</b>	<b>1,151,754</b>	<b>1,177,139</b>	<b>25,385</b>
有形固定資産	118,958	115,323	△ 3,635
無形固定資産	3,046	2,674	△ 371
投資その他の資産	1,029,749	1,059,141	29,391
<b>資産合計</b>	<b>3,985,060</b>	<b>4,004,846</b>	<b>19,785</b>

## 負債の部

(単位: 千円)

	13年9月期	14年9月期 第1四半期	増減
<b>流動負債</b>	<b>383,983</b>	<b>488,495</b>	<b>104,512</b>
短期借入金	265,100	295,100	30,000
未払金	26,833	55,451	28,617
預り金	55,359	64,443	9,084
その他	36,690	73,500	36,810
<b>固定負債</b>	<b>936,869</b>	<b>941,068</b>	<b>4,199</b>
長期借入金	841,684	841,684	0
退職給付引当金	56,962	58,837	1,874
その他	38,222	40,546	2,324
<b>負債合計</b>	<b>1,320,852</b>	<b>1,429,564</b>	<b>108,711</b>

## 純資産の部

<b>株主資本</b>	<b>2,662,156</b>	<b>2,573,055</b>	<b>△ 89,101</b>
資本金	2,312,517	2,312,517	0
資本剰余金	14	14	0
利益剰余金	349,624	260,522	△ 89,101
新株予約権	2,050	2,226	175
<b>純資産合計</b>	<b>2,664,207</b>	<b>2,575,281</b>	<b>△ 88,926</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>3,985,060</b>	<b>4,004,846</b>	<b>19,785</b>

# 個別損益計算書

(単位: 千円)

	2013年9月期 第1四半期	2014年9月期 第1四半期	増減
売上高	67,040	142,121	75,080
売上原価	1,741	51,344	49,602
売上総利益	65,299	90,777	25,478
販売費及び一般管理費	232,073	219,021	△ 13,051
営業損失(△)	△ 166,774	△ 128,244	38,529
営業外収益	6,302	96,498	90,195
営業外費用	983	1,176	192
経常損失(△)	△ 161,455	△ 32,923	128,532
特別利益	1,707	17	△ 1,689
特別損失	587	—	△ 587
税引前四半期純損失(△)	△ 160,336	△ 32,905	127,430
法人税等	302	△ 4,265	△ 4,568
四半期純損失(△)	△ 160,638	△ 28,639	131,998

## 連結業績の推移

決算年月		2009年 9月期	2010年 9月期	2011年 9月期	2012年 9月期	2013年 9月期	2014年9月期 第1四半期
売上高	(百万円)	10,385	3,465	6,988	2,038	1,603	282
売上総利益	(百万円)	△ 7,326	935	3,509	908	1,468	213
経常利益又は経常損失(△)	(百万円)	△ 21,197	△ 2,604	1,220	△ 915	88	△ 76
当期純利益又は当期純損失(△)	(百万円)	△ 12,091	△ 2,172	1,404	△ 1,274	182	△ 82
純資産額	(百万円)	5,447	3,164	4,870	3,632	2,716	2,591
総資産額	(百万円)	15,766	7,352	7,682	6,417	4,770	4,691
1株当たり純資産額	(円)	3,851.31	2,024.72	3,152.33	1,981.69	2,222.87	2,105.34
1株当たり当期純利益金額 又は当期純損失金額(△)	(円)	△ 10,008.43	△ 1,798.88	1,168.69	△ 1,069.83	152.06	△ 67.97
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額	(円)	—	—	1,168.05	—	152.06	—
自己資本比率	(%)	29.5	33.3	48.9	36.8	56.4	54.3
自己資本利益率	(%)	△ 112.7	△ 61.2	45.3	△ 41.7	7.2	—
株価収益率	(倍)	—	—	2.6	—	21.9	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	8,333	626	1,953	959	△ 464	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	7,687	△ 2,281	△ 631	80	85	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	△ 19,674	△ 3,376	△ 413	△ 233	△ 128	—
現金及び現金同等物の期末残高	(百万円)	5,811	829	1,711	2,522	1,644	—
従業員数(連結) (外、平均臨時雇用者数)	(人)	117(16)	72(13)	70(17)	60(19)	51(13)	50(7)
従業員数(単体) (外、平均臨時雇用者数)	(人)	50(5)	40(2)	15(2)	20(3)	26(3)	24(2)

# 子会社単体業績の推移

単位：百万円

ベルス	2012年9月期			2013年9月期			2014年 9月期
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期	1Q
売上高	253	302	555	248	256	505	103
売上総利益	212	261	474	207	216	424	83
経常利益	25	58	83	2	3	5	△10

パブリック・ マネジメント・ コンサルティング	2012年9月期			2013年9月期			2014年 9月期
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期	1Q
売上高	118	89	208	78	69	147	19
売上総利益	27	24	51	33	26	60	4
経常利益	△53	△53	△107	△4	9	4	△8

フィンテック アセット マネジメント	2012年9月期			2013年9月期			2014年 9月期
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期	1Q
売上高	54	82	136	118	73	191	56
売上総利益	54	81	135	117	73	191	56
経常利益	△16	△4	△21	36	△7	29	17

Crane Reinsurance	2012年9月期			2013年9月期			2014年 9月期
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期	1Q
売上高	—	—	—	—	—	—	—
売上総利益	7	△396	△388	9	17	27	—
経常利益	8	△428	△420	△19	△105	△124	△52

## 免責条項

本資料は、当社およびFGIグループの2014年9月期第1四半期業績に関する情報の提供を目的としたものであり、有価証券にかかる売買、金融商品取引に係る契約等いかなる商品の勧誘をするものではありません。

本資料に記載されている、各種資料・文書には、当社またはFGIグループに関連する見通し、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価などといった、将来に関する記述をはじめとする歴史的事実以外の事実を記載しているものが含まれていることがあります。これらの歴史的事実以外の事実(以下、「将来情報」ということがあります)の記載は、当社またはFGIグループが入手した情報に基づく、当該資料・文書の日付(または当該資料・文書に別途明示された日付)時点における予測、期待、想定、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・目標等を策定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・目標設定等を行うために不可欠となる一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述ないし事実または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。したがって、これらの記述ないし事実または前提(仮定)が、客観的に不正確であり、将来実現しないという可能性があります。その原因となりうるリスクや要因は多数あります。将来情報は、将来発生する事象、リスク、不確実性を内包する要因を含んでおり、そうした前提は、当社またはFGIグループの実際の業務・業績に著しい悪影響を及ぼす可能性があります。かかる要因には、日本国、米国、アジアあるいはその他の国・地域における経済状況の悪化、不動産価値または株価の下落、FGIグループの貸出先の産業分野における企業破綻の増加やその他問題の発生、当社の経営統合およびコスト削減期待の実現の困難化または遅延、競争の激化、FGIグループの業務に関する法令規則の改正、FGIグループにとって不利益となる日本国経済その他の政策の変更が含まれます。

なお、将来情報に関する記述を含む資料・文書が本資料に記載されている間においても、当該将来情報は上記のとおり当該資料・文書の日付(またはそこに別途明記された日付)時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。

